

NGO福岡ネットワーク機関誌

国際協力ニュース January 2021 Vol.138

Contents

P 2-3 「ヴィーガンと国際問題」 P 4-5 「FUNN加盟団体インタビュー」 P 6

「FUNN活動レポート」 P 7 「イベント情報」



ヴィーガンと国際問題

みなさま新年あけましておめでとうございます。今年もNGO福岡ネットワークをよろしくお願いいたします。

今回の国際協力ニュースでは、ヴィーガンと国際問題についてご紹介します。昨今、メディアやソーシャルネットワークサービスで取り上げられることが増えた「ヴィーガン」について、みなさんはご存知でしょうか？

ヴィーガンの方々の信念と、国際問題との関係性について見ていきましょう！

ヴィーガニズム (Veganism)

食用・衣料用・その他の目的のために動物を搾取したり苦しめたりすることができる限り止めようとする生き方

※引用：特定非営利活動法人
日本ベジタリアン協会

【ヴィーガンと社会問題との関係性】

「ヴィーガン」（絶対菜食者）と聞くと、

健康食品や菜食主義をイメージするかも知れません。日本では、主に健康趣向やダイエット目的として広がりをみせてきました。しかし、2019年はソーシャルネットワークサービスのインスタグラムで「#ヴィーガン」の投稿数が急増し、「ヴィーガンの年」と言われるくらい人々の関心を引きました。また、世界に目を向けると現在ではスーパーマーケットやレストランでの選択肢も格段に増え、ヴィーガンのための料理本が書店の棚にずらりと並んでいます。自分は何でも好き嫌いなく食べられるから関係ないと思われる方も多いかもしれません。実はあまり知られていないかもしれませんのが、ヴィーガンのライフスタイルは、地球環境の保護と動物愛護の精神が中心になつてしているのです。ではヴィーガンと社会問題の関係性とは何なのでしょうか？

【なぜヴィーガンなのか？】

「どうしてヴィーガンなのか」と聞いてみると「地球環境の保護のため」と答える方がいます。特に、畜産業が環境に与える

影響がとても大きい、という事実に彼らは危機感をもっています。

まず、大量生産・大量消費の工場式農場のために森林伐採がおこなわれています。中南米のブラジルアマゾンや「コスタリカの森林が、1960年以降大量に伐採されています。また、動物愛護・脱動物搾取の観点からも、このような工場式農場は批判されることがあります。

さらに、牛から排出されるメタンガス、牛

の粪から発生する亜酸化窒素、家畜に与えるための飼料・肥料輸送時に排出される二酸化炭素は温室効果ガスと呼ばれ、地球温暖化の大きな原因となっています。実際に家畜動物たちが排出する温室効果ガスの量は、全世界の交通機関によるものの1.4倍にもなるのです。

また、畜産業は地球温暖化問題だけではなく水不足問題にも関わっています。畜産業は果物や野菜の生産と比較し、飼料栽培や家畜のために大量の水を必要とします。今後ますます深刻となる水不足問題に対し、水資源の管理は持続可能な発展のために重要な課題となつているのです。



過度な森林伐採や畜産業の推進が水不足等の地球環境問題を引き起こす要因となっています

れています。なぜ、今でも飢餓人口が絶えないのでしょうか？ 実は、生産される穀物の半分が家畜のエサになつてているのです。そして、最終的にその肉を食べているのが先進国の人々なのです。飢餓で苦しむ人々のもとに肉は届きません。このように畜産業は飢餓問題の解決を妨げているといえます。以上がヴィーガンの畜産業に対する主張です。彼らはこのような社会課題に気づいている人々といえます。

【健康のためのカレー・ライスとスイーツの店
ナツツココの取り組み】

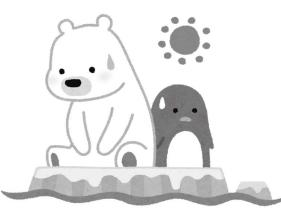
「健康のためのカレーとスイーツの店」をコンセプトに、「ナツツココ」が今年3月久留米駅近くにオープンしました。オーナーの永島さんは、以前から野菜中心の健康を意識した料理を提供していました。昨今の社会情勢、動物愛護、環境問題などから、ヴィーガンへの関心を高めてもらいたいと思い「ヴィーガンカレー」も始めました。カレーは、インドの野菜カレーからヒントを得て、ヴィーガンに対応しやすい料理だと知りました。しかし、現代人は動物製品からとる出汁の味に慣れてしまつたため、ヴィーガン料理では物足りなさを感じやすいと言われます。そのため、ヴィーガンカレーを創作する際、うまみをいかに引き出せるかを試行錯誤しました。また、「ヴィーガンスイーツ」は、材料にナツツなどを多く使うため、どうしても原価率の面で割高になってしまう傾向があります。しかし、日本でもヴィーガン料理が広まればナツツ価格の問題は緩和されると思います。永島さんの今後の願いは、①「一般の人がヴィーガンの信念や目的をまずは知ること」、②「美味しいヴィーガン料理が世間で浸透すること」、③「命をいただくことの大切さをもう一度深く考えてみたい」とあります。

「健康のためのカレー・ライスとスイーツの店」をコンセプトに、「ナツツココ」が今年3月久留米駅近くにオープンしました。オーナーの永島さんは、以前から野菜中心の健康を意識した料理を提供していました。昨今の社会情勢、動物愛護、環境問題などから、ヴィーガンへの関心を高めてもらいたいと思い「ヴィーガンカレー」も始めました。カレーは、インドの野菜カレーからヒントを得て、ヴィーガンに対応しやすい料理だと知りました。しかし、現代人は動物製品からとる出汁の味に慣れてしまつたため、ヴィーガン料理では物足りなさを感じやすいと言われます。そのため、ヴィーガンカレーを創作する際、うまみをいかに引き出せるかを試行錯誤しました。また、「ヴィーガンスイーツ」は、材料にナツツなどを多く使うため、どうしても原価率の面で割高になってしまう傾向があります。しかし、日本でもヴィーガン料理が広まればナツツ価格の問題は緩和されると思います。永島さんの今後の願いは、①「一般の人がヴィーガンの信念や目的をまずは知ること」、②「美味しいヴィーガン料理が世間で浸透すること」、③「命をいただくことの大切さをもう一度深く考えてみたい」とあります。

「健康のためのカレー・ライスとスイーツの店」をコンセプトに、「ナツツココ」が今年3月久留米駅近くにオープンしました。オーナーの永島さんは、以前から野菜中心の健康を意識した料理を提供していました。昨今の社会情勢、動物愛護、環境問題などから、ヴィーガンへの関心を高めてもらいたいと思い「ヴィーガンカレー」も始めました。カレーは、インドの野菜カレーからヒントを得て、ヴィーガンに対応しやすい料理だと知りました。しかし、現代人は動物製品からとる出汁の味に慣れてしまつたため、ヴィーガン料理では物足りなさを感じやすいと言われます。そのため、ヴィーガンカレーを創作する際、うまみをいかに引き出せるかを試行錯誤しました。また、「ヴィーガンスイーツ」は、材料にナツツなどを多く使うため、どうしても原価率の面で割高になってしまう傾向があります。しかし、日本でもヴィーガン料理が広まればナツツ価格の問題は緩和されると思います。永島さんの今後の願いは、①「一般の人がヴィーガンの信念や目的をまずは知ること」、②「美味しいヴィーガン料理が世間で浸透すること」、③「命をいただくことの大切さをもう一度深く考えてみたい」とあります。

【ヴィーガンを理解するために】

「健康のためのカレー・ライスとスイーツの店」をコンセプトに、「ナツツココ」が今年3月久留米駅近くにオープンしました。オーナーの永島さんは、以前から野菜中心の健康を意識した料理を提供していました。昨今の社会情勢、動物愛護、環境問題などから、ヴィーガンへの関心を高めてもらいたいと思い「ヴィーガンカレー」も始めました。カレーは、インドの野菜カレーからヒントを得て、ヴィーガンに対応しやすい料理だと知りました。しかし、現代人は動物製品からとる出汁の味に慣れてしまつたため、ヴィーガン料理では物足りなさを感じやすいと言われます。そのため、ヴィーガンカレーを創作する際、うまみをいかに引き出せるかを試行錯誤しました。また、「ヴィーガンスイーツ」は、材料にナツツなどを多く使うため、どうしても原価率の面で割高になってしまう傾向があります。しかし、日本でもヴィーガン料理が広まればナツツ価格の問題は緩和されると思います。永島さんの今後の願いは、①「一般の人がヴィーガンの信念や目的をまずは知ること」、②「美味しいヴィーガン料理が世間で浸透すること」、③「命をいただくことの大切さをもう一度深く考えてみたい」とあります。



健康のためのカレーとスイーツの店
ナツツココ

〒830-0023
福岡県久留米市中央町11-1
第一田中ビル 2F Mekuruto内

電話番号:080-4284-5114
営業時間:11:30~15:00
店休日:木曜日



ひよこ豆と大豆ミートの
ヴィーガンキーマカレー（950円）

ほくほくのひよこ豆にしっかりと下処理した大豆ミートを合わせ、飴色玉ねぎと豆乳ヨーグルトでコクのある味に仕上げました。

ヴィーガンの方はもちろん、普段あまり野菜を食べない方にも食べていただきたい一品です。



スイーツも美味しかったです！

加盟団体インタビュー

NPO法人 エスペランサ



ソナック小学校の1年生

1996年から、15歳から25歳までの女性を対象に識字・洋裁教室「クルソ・エスペランサ」(希望の学校)という意味を開校し、以後、自立支援のための技術取得支援を行いました。1998年の国内内戦により一時国外退去となりましたがその時でも避難した隣国セネガルにおいて難民キャンプで洋裁教室を続け、避難している人たちに希望を与えました。内戦後は、600人の戦争孤児が生まれたため、2001年から里親制度を

西アフリカのギニアビサウ共和国で活動しているエスペランサの代表者馬場さんにお話を聞きました。ギニアビサウ共和国は国民の6割が国際貧困ライン(1日1.9ドル)以下の収入で暮らしている世界でも最貧国の1つです。あまり聞きなれない国かもしれません、これを機にギニアビサウ共和国について関心を持つてもうれしいです。

活動内容

導入し、彼らの食料や医療費の支援活動を行いました。2002年には、当初の目標だった学校建設に着手し、2003年、首都ビサウ市ルアンダ地区にソナック小学校を開校しました。2009年にはソナック中学校も開校し、今は小学校300名、中学校500名の生徒が学業に励んでいます。その一方で、貧困から学校で勉強することもできない子供たちもたくさんいます。2003年の小学校開校以降、貧困層の子供たちに対する支援も開始しました。現在は中学校の生徒まで対象範囲を広げ、約200人の子供たちの支援を行っています。

活動目的

私たちの活動地域は、首都ビサウで行っています。首都ではありますが、インフラが十分に行き渡っておらず、停電や断水が頻繁に起きます。エアコンもないため、夏場になれば極暑のなか学生たちは授業を受けなくてはなりません。また、ギニアビサウ共和国は、就学率が25%と日本と比べると極めて低く、学校不足が深刻で、最近では公立学校教員のストライキが頻発しています。このような大きな課題がある中で、私たちは「貧困撲滅」を目標に活動を行っています。目標を高く掲げることで、妥協せずに活動に取り組むことができます。そのための活動として、女性の自立と青少年の健全育成をめざすという目的で活動を開始しました。そして、現在は子供の教育に力を注いでいます。貧困を考えれば食料の自給を促す活動や、金銭・技術支援などもちろん必要ですが、どんな環境が整備されていても、現地の人々の道徳教育(嘘をつかない、物を盗まないなど)がな

されていないと国の発展もないと考えています。ギニアビサウ共和国は、約6割の人々が貧困層にあります。さらに女性の地位が男性に比べて低く、特に若い女性の識字率と計算能力の低さが目立ちます。このような女性たちが、満足に商売ができる自立していくためには教育が非常に大切になってくると思います。

FUNNに加盟するメリット

助成金の情報だけでなく、俱楽部FUNN・事務所での交流を通じて人との出会いの機会を得ることができます。加盟団体のNGOの活動を知ることで、新たな刺激をもらうこともできます。また、アフリカの現状を広く一般の方に知つていただくため、報告会やイベント、チャリティーコンサートなどで広報活動も行っています。マスク「ミ」では知られない現地の様子は生のアフリカの人々や国の現状など、とても興味をそそられるのではないかと思うています。FUNNに加盟することで、このような広報活動を効果的に行なうことができると思えています。



FUNNからの助成金で図書贈呈(ソナック中学校へ)

うに努めて
いきたいと
思います。



ソナック中学校の生徒たち

NPO法人 エスペランサ

〒838-0059

福岡県朝倉市平塚530

TEL : 093-642-6053 / FAX : 0946-24-9253

E-mail : contact@npo-gb-esp.org

いと考えています。ソナック小・中学校の一環教育が実現し、この国の将来を担う子供たちへの就学環境が充実することで、貧困から授業料を払えず学校へ行けない子供たちに対する就学・教育の機会を提供していきます。

学校経営については、今は全面的に支援を行っていますが、2023年をめどに現地のスタッフおよび関係者に自主経営を目指してもらいたいとおもいます。ギニアビサウ共和国はこれまでに国連や他国からの援助を大量に受けてきました。そのことで、現地の人々は何かをしてもらつことが当たり前になってしましました。今後は、その意識を学校の自主運営を通じて変えていくと強く願っています。そのためには、運営方法を教えるだけでなく、スタッフの心のケアも大切にし、公私ともに密接な関係が築けるようになります。

特定非営利活動法人 ISAPH

ISAPHは、久留米市にある聖マリア病院が長年培ってきた途上国での保健医療協力と公衆衛生にかかる支援経験をする団体として2004年に設立されたNPO法人です。ISAPH事務局長の佐藤さんにお話を伺いました。

活動内容

ISAPHの主な活動は、①住民主体の地域保健活動、②災害などの被災地に対する緊急医療援助活動、そして、③相互の知識と経験を活かした保健人材の育成です。①については15年以上継続して、内陸国で開発が遅れやすい東南アジアのラオスとアフリカのマラウイにおいて支援を実施しています。とりわけ農村部などの保健医療サービスへのアクセスが悪い地域に暮らす住民を対象として、住民が自分の健康に気づき、関心を持つて行動が変わることで、より良い生活を得てしていくことを目指しています。

活動目的



子供の体重測定(ラオス)
昆虫食を美味しく調理(ラオス)

ラオスとマラウイにおける 共通問題

ISAPHが活動している地域にあ

る健康問題として「子どもたちの栄養不良」がありますが、その原因の一つとなっているのが知識の不足です。保健サービスが行き届いている地域では、健康教育などを通じて、子どもたちにどの時期に何を与えたらいいのか、または与えてはいけないのかといった栄養に関する基本的な知識を得る機会があります。そのような機会を得られない場合、これまでの経験や習慣が行動を作ります。生まれて数日の赤ちゃんにもち米を与えて、お腹がいっぱいになれば良いと考えた結果のおかずと米だけで食事を済ませたり、食事の代わりに駄菓子を買い与えるなどが見られるのです。もちろん、この課題は、一方的に知識を伝えるだけでは効果がないかもしれません。住民自身が現状に気づき、子どもたちの栄養状態に関心を持てるよう、今の栄養状態が悪いことを“見える化”することや、実際に行動を変えて子どもの健やかな成長を実感してもらいうことも大切です。そのためにも、支援者としての私たちが、住民に受け入れられる必要がありますし、現地の保健医療従事者が住民と良好な関係を築き、情報を伝える仕組みを作る場合もあります。

二つ目は、物理・経済面に関する問題です。ISAPHの活動により住民が栄養の大切さを認識し、子どもたちに栄養価の高い食べ物を食べさせたいという考え方になつても、「そもそも栄養価の高い食材がない」と思っています。広報活動のアンケートをいくつも持っている組織には、たくさんの情報を広く共有してもらおることを期待しています。

三つ目は、助成金ですが、ただ活動を支援してもらえるということではなく、申請する過程で、活動や提案を外部から審査してもらえることに意義を感じています。ISAPHの活動やプロジェクトが、きちんと成り立つ



マラウイの親子

る健康問題として「子どもたちの栄養不良」がありますが、その原因の一つとなっているのが知識の不足です。保健サービスが行き届いている地域では、健康教育などを通じて、子どもたちにどの時期に何を与えたらいいのか、または与えてはいけないのかといった栄養に関する基本的な知識を得る機会があります。そのような機会を得られない場合、これまでの経験や習慣が行動を作ります。生まれて数日の赤ちゃんにもち米を与えて、お腹がいっぱいになれば良いと考えた結果のおかずと米だけで食事を済ませたり、食事の代わりに駄菓子を買い与えるなどが見られるのです。もちろん、この課題は、一方的に知識を伝えるだけでは効果がないかもしれません。住民自身が現状に気づき、子どもたちの栄養状態に関心を持てるよう、今の栄養状態が悪いことを“見える化”することや、実際に行動を変えて子どもの健やかな成長を実感してもらいうことも大切です。そのためにも、支援者としての私たちが、住民に受け入れられる必要がありますし、現地の保健医療従事者が住民と良好な関係を築き、情報を伝える仕組みを作る場合もあります。

二つ目は、情報収集です。FUNNが発行する国際協力ニュースやメールマガジン等の情報を通じて、より多くの人にISAPHの活動を知つてもらいたいと思っています。広報活動のアンケートをいくつも持っている組織には、たくさんの情報を広く共有してもらおることを期待しています。

FUNNに加盟するメリット

FUNNに加盟することで、今後の活動の指針を決めるごとに役立つと考えています。

今後の活動予定

今年の3月に日本人スタッフの安全を考え、「ラオスとマラウイから帰国させました。その後も、日本から現地と連絡を取りながら、遠隔にてプロジェクトを続けています。コロナ収束後は、また日本人を派遣し、専門的な知識から支援を引き続き行いたいと考えています。また、ISAPHはこれまで活動の広報が上手くできていなかつたので、私たちの活動に共感してくれる方を探しています。住民の健康を向上するためには多くのパートナーが必要だと気づきましたから、ISAPHを知つてもらいたいうための活動にも力を入れていきたいです。

特定非営利活動法人 ISAPH

〒813-0034
福岡県福岡市東区多の津4-5-13
スギヤマビル4階
TEL : 092-621-8611 /FAX : なし
E-mail : jimukyoku@isaph.jp

「解決したい気持ちを形に変える」九州地域のNGO向け組織強化研修の報告会を実施しました

2020年11月15日に、「解決したい気持ちを形に変える」九州地域のNGO向け組織強化研修の報告会を実施しました。

これは、九州地域のNGOが参加する研修プログラムで、「解決したい気持ちを形に変える」がテーマです。九州地域で活動する

国際協力NGO団体が、「国際協力の現場でより良い活動を行うために、その障壁となつている団体自身の現状課題を解決し、団体の組織運営と活動実施の機能が向上すること」を目的としています。2018年から3年間、集合研修への参加、アクションプランの作成・実施を続けてきました。

会場でのリモート報告のようす

<研修プログラムの概要>

- 2018年5月 事前ワークショップ&説明会の開催
- 2018年8月 受講団体のニーズの聞き取り
- 2018年11月 集合研修第1回
- 2019年1月 集合研修第2回
- 2019年3月 集合研修第3回
- 2019年5月 集合研修第4回
- 2019年7月 集合研修第5回
- 2020年2月 受講団体への第1回ヒアリング
- 2020年7月 受講団体への第2回ヒアリング
- 2020年11月 最終報告会

FUNNは、今回の「NGO等提案型プログラム」の成果が今後のNGO支援に役立てられる事を期待しています。今後も、九州地域のNGO支援のためFUNNは活動を続けてまいります。

報告会では、参加団体にどのような変化があり、どのような成果が生まれたかを発表していただきました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、会場とオンライン会議ツールZoomも併用した会となりました。

2020年10月31日に、大牟田市教育委員会主催で「地域ESD学び合いフォーラム」にて、FUNNが実施しているオンラインNGO相談の事例発表を実施しました。ESDとは、「持続可能な開発のための教育」のことです。持続可能な地球環境・社会づくりのための取り組みです。

当団は、会場には100名程が参加し、「コロナの影響からオンライン参加でも行いました。大牟田市が実施しているユネスコスクールの取り組みや他団体のESD実践例の事例報告があり、地域で行う国際理解や環境教育の可能性を共有しました。

FUNNは、ESD教育を通じた青少年への国際理解の普及、また世界中で起きている環境問題の理解促進のため九州地域でESD教育を今後も実施していきます。教育機関だけでなく、自治体や企業向けにも出張講演が可能です。ぜひお気軽にご相談ください。

地域ESD学び合いフォーラムにて活動報告を行いました



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



E"vent Information

FUNN周辺の"耳より" イベント情報

NGO福岡ネットワーク

第20期国際協力NGOカレッジ 『SDGsと私たちの暮らし』

NGOカレッジとは国際協力に関心のある市民を対象に、NGOの活動や世界課題の現状等を知り、自らにできることを考える学習機会の場です。NGO福岡ネットワーク(FUNN)主催の連続講座です。今年度は岐阜県のNPO法人泉京・垂井、西南学院大学との協働でオンライン連続講座として実施いたします。今年度20期目を迎えるNGOカレッジのテーマは「SDGsと私たちの暮らし」です。

日常生活のあらゆる場面で耳にする機会が増えたSDGs。言葉や意味は知っているけど、どのように日常生活に取り入れたらいいの?そんな疑問を解決するヒントになるよう今回のNGOカレッジでは身の回りの生活環境からSDGsを考え、自ら実践していくキッカケとなる機会にしていきます。オンラインだからこそできた実現できた新しいNGOカレッジにぜひご参加ください。

※今年度のNGOカレッジは全日程ビデオ会議システム(Zoom)を使用して、オンラインで実施致します。
※〈講義形式〉では、一般参加型で実施致します。また、全日程参加を推奨致しますが各回ごとの参加も可能です。

第1回目 SDGsから見直す私たちの食と農〈講義形式〉

日時：1月20日(水) 19:30～21:00
講師：神田浩史氏(NPO法人泉京・垂井副代表理事)

第2回目 挑戦川流域で見るSDGs 〈ワークショップ形式〉

日時：1月30日(土) 14:00～16:30
講師：鉄井萱人氏(特定非営利活動法人名古屋NGOセンター 国際理解・開発教育委員)

第3回目 SDGsで読み解く 足元の水環境と森林〈講義形式〉

日時：2月10日(水) 19:30～21:00
講師：神田浩史氏(NPO法人泉京・垂井副代表理事)

第4回目 私たちの暮らしと熱帯雨林の関係〈ワークショップ形式〉

日時：2月20日(土) 14:00～16:30
講師：荒川共生氏(ボルネオ保全トラストジャパン理事)

第5回目 SDGsをより深く理解するために〈講義形式〉

日時：3月3日(水) 19:30～21:00
講師：神田浩史氏(NPO法人泉京・垂井副代表理事)

第6回目 アクションを起こそう! 〈ワークショップ形式〉

日時：3月13日(水) 14:00～16:30
講師：神田浩史氏(NPO法人泉京・垂井副代表理事)

参加費：一般 1,500円 学生：
1,000円
詳細・お申込み
<https://sento-funn-online4.peatix.com/>

リモート俱楽部FUNN2月 「《やさしい日本語》で喋れますか?」

災害などの緊急事態の時、在住外国人へ説明するときに必要な《やさしい日本語》。難しい表現をせずにきちんと伝えるためにはどうすればいいのか? インドネシアで日本語教師として活動した経験のある講師の方からお話を伺います。

日程：2月5日(金) 19:00～20:30
会場：オンライン会議ツールZoomを使用しての開催となります。
参加費：¥500

<出演者>

自見佳珠子：日本語教師。日本語教室「さくら」、技能実習生の入国情後学習プログラムで日本語を指導。2018年9月から2019年3月まで、インドネシア・メダンで日本語パートナーズとして高校の日本語教育をサポート。

お申し込み：
<https://funn02-2021.peatix.com/>

パネル展に出展します。 NGO相談ブースも設置!

「みんなで目指す多文化共生社

会」をテーマとしてパネル展が実施されます。FUNNのブースでは国際協力について紹介するほかNGO相談員として市民のみなさんからのご質問・ご相談に対応いたします。ご来場をお待ちしております。

日時：2月5日(金)～2月11日(木・祝)

会場：福岡市役所本庁舎 1階 多目的スペース

主催：福岡国際関係団体連絡会
(FUKU-NET)

共催：(公財)福岡よかトピア国際交流財団

後援：福岡市

【FUNNのFacebook,twitterフォローのお願い】

FUNNの最新情報を随時更新中です、会員団体の皆様のフォローやFUNNの活動の情報拡散へのご協力をお願いいたします。

■Facebook:

<https://www.facebook.com/FUNN.-fukuoka/>

■twitter:

https://twitter.com/FUNN_NGO

メールマガジン配信中
登録はコチラから



【2020年度FUNN会員募集】

FUNNでは活動を継続して支えてくださる会員を募集しています。会員種別の詳しい情報は次のページをご参照ください。

会員申し込みフォームを設置しました。こちらからもお申込みいただけます。

<https://forms.gle/VYnpzQmX9itgh-AGC8>



正会員団体 (23団体)

- *(特活)ISAPH
- *アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- *(特活)アジア女性センター
- *(特活)エスペランサ
- *NGO Earth for Children
- *(特活)九州海外協力協会
- *債務と貧困を考えるジュビリー九州
- *佐賀NGOネットワーク
- *JVC九州ネットワーク
- *(特活)じやっど
- *認定NPO法人ソルト・パヤタス
- *認定NPO法人地球市民の会
- *チベットを知る会
- *NPO法人トゥマンハティふくおか
- *国際協力NGO NESTEP
- *ネパール歯科医療協力会(ADCN)
- *芭蕉繊維研究会
- *(特活)パングラデシュと手をつなぐ会
- *PP21ふくおか自由学校
- *福岡YMCA
- *フレンズ国際ワークキャンプ九州
- *(-社)ミドリゼーションプロジェクト
- *モザンビークのいのちをつなぐ会

※2021年1月31日現在

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年はどうぞFUNNをよろしくお願いいいたします。コロナウイルスが全国で猛威を奮い、日々深刻な状況へとなっています。先行きの見えない不安が消えることはないですが、皆様のご安全とご活躍をお祈り申し上げます。コロナウイルスの状況が徐々に改善していき、これまでのように活動ができる事を期待しています。

【FUNN小原】

FUNN 応援寄付 募集中！

2021年に、NGO福岡ネットワーク(FUNN)は設立から28年を迎えます。28年前の福岡で、NGO活動に関わる人たちが横のつながりの重要性を感じてFUNNは設立されました。これまで多くの方々のご支援により、福岡や九州を中心としたNGO間や他セクターとのネットワークの構築、地域のNGOや国際協力活動の活性化、市民の国際協力への参加促進等の事業を行ってきました。ご支援いただいております皆さま、本当にありがとうございます。
これからもFUNNは、NGOへのサポートや多様なネットワーク構築等により、地球規模課題の解決を目指していきます。国際協力のこれからを考えること、市民の皆様や他セクターとNGOを繋げることに注力していきます。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ご入会のお願い

NGO福岡ネットワークは、NGOとネットワークを作り、会員団体には組織基盤・活動実施能力向上のための研修・学習会、市民の方々にはNGO活動の内容をお知らせし、ともに考える各種活動を行っております。FUNNでは活動を継続して支えてくださる会員を募集しています。

- | | |
|----------|----------------------------------|
| ◆正会員 団体 | 10,000円／1口:FUNNの目的に賛同して入会する団体 |
| ◆賛助会員 企業 | 30,000円／1口:FUNNの目的に賛同してそれを支援する企業 |
| ◆賛助会員 団体 | 10,000円／1口:FUNNの目的に賛同してそれを支援する団体 |
| ◆賛助会員 個人 | 6,000円／1口:FUNNの目的に賛同してそれを支援する個人 |
| ◆通信会員 | 3,000円／1口:機関誌の定期購読のために入会した団体や個人 |

★会費・寄付の振込先

郵便振替口座名: NGO福岡ネットワーク
口座番号: 01790-7-89478



ご入会はコチラ

★お問い合わせ

TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net

【国際協力・NGOに関する相談はNGO相談員へ】

(特活)NGO福岡ネットワークは外務省より「令和2年度 NGO相談員」を受託しました。

オンライン相談もOK！新型コロナ対策を強化して活動中です！

2021年1月の福岡県の緊急事態措置を受けて、FUNNは新型コロナ対策を強化して活動しています。FUNNでは充分な対策を行い、NGOの支援、国際協力に関する相談についてもリモートで対応致します。最善を尽くし対応させていただきますのでお気軽に問い合わせください。



福岡で活動する国際協力NGOのネットワーク

NGO福岡ネットワーク
FUKUOKA NGO NETWORK (FUNN)

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1 小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」内
TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net URL: <https://ngofukuoka.net/>

◆◇NGO相談を受け付けています（外務省委嘱）◆◇◆

*火～土 13:00～18:00 *日・月・祝…休み

*事務所を留守にすることがありますので、ご来所の際はお電話くださると助かります。

*専用駐車場がありませんので、自動車での来所は、ご遠慮ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

